

東 桂 小 だ よ り

令和2年度
第10号

令和3年 2月24日

発行責任者：校長 志村 雅巳

学校教育具体目標

- ㊦ 進んで学ぶ子ども
- ㊧ 思いやりのある子ども
- ㊨ 健康でたくましい子ども

中学校教員による出前授業開催！ ～ 中1ギャップ解消に向けて ～

去る2/12（金）、東桂中学校の先生方をお招きし、出前授業を実施しました。中学校生活への不安を取り除き、いわゆる【中1ギャップ】を防ぐことを目的として始めたものです。中学校の学習内容（さわりの部分）や学校生活の様子、部活動の状況などを丁寧に説明していただき、子ども達は興味深く聞いていました。

小学校と中学校の生活で一番の違いは、部活動があるということです。本校学区には、バレーボールをはじめ、野球や空手など県内外で活躍する優秀なスポ少等がたくさんあります。中学校に進んでも、その力を発揮し、東桂地域を盛り上げて欲しいと思います。



中学校部活動における全国的な課題を見る！



小学校の学校便りではありますが、近い将来、進学する中学校の現状を知っていただくため、保護者の皆様・地域の皆様にもお知らせ致します。

現在、全国的に中学校部活動において、幾つかの大きな課題を抱えています。その一つは、学校の部活動数に比べ教員数が足りないということです。生徒数（学級数）減少に伴い、学校に配置される教員数も削減されます。しかし、各学校で生徒数が多かった時代に創設された部活動は、生徒数が減少した現在も存続していることが多いのです。しかも、部活動を減らしていくことは簡単ではないため、子どもの数が減少していくに従って、部活動数に適した教員の絶対数が不足していくのです。

二つ目の課題として、部活動顧問の負担が大き過ぎるということです。学校の教員は、担当した部活動に対して専門的な知識や経験を持っていることは稀であり、それらを持ち合わせているのは、ほんの一部の教員のみです。殆どの顧問が、素人として一から勉強し、「少しでも多くの経験をさせてあげたい。優秀な成績を収めさせてあげたい。」と思いながら指導しています。

また、部活動が県内外の〇〇連盟・〇〇協会という組織と連動していることが多く、それらの団体が主催する大会等へも参加することで、必然的に引率も行うこととなります。ともすると、生徒は参加していなくても大会役員として参加しなければならない場合もあるのです。顧問にとっては、精神的な負担はもとより、休日勤務による時間的・身体的な負担も非常に大きく、自分の家庭の時間さえ充分に作れないでいるのが現状であり、今後は地域としても対策を考えていかなければなりません。

KDDIによるスマホ教室開催！

今や、スマートフォンをはじめとする通信端末機器は、私たちの生活から切っても切れない存在となっており、その利用開始年齢も以前に比べ格段に下がっています。その一方で通信端末機器の SNS アプリを利用した誹謗中傷により、友人同士のトラブルやゲームアプリ内の課金による家庭内トラブル、場合によっては犯罪に巻き込まれる等のケースが後を絶ちません。今まで同種の講演を聴く機会が多数ありましたが、いずれも「与えるだけでなく、きちんとした使い方を知ること、保護者のもとでペアレンタルコントロール等の管理をしっかりと行うこと。そして、保護者と子どもとの間で使い方について約束し、しっかりと守らせていくことが大切！」ということです。

私たち大人が思っている以上に、誘惑の多い情報は拡散し使い方も早く覚えるため、使い始める前から対策をとっておく必要があります。便利さの裏には危険も存在し、危機管理の重要性を説いていく必要があります。ご家庭におかれましても充分ご指導ください。

今年度の卒業式について

未だ収束しない新型コロナウイルスの影響で、今年度の卒業式も昨年度と同様な形式で実施致します。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

- 日時 3月19日(金) 9:30～
- 受付 8:45～
- 参加者
 - ・ 卒業生
 - ・ 保護者のみ
 - ・ 来賓（教育委員会1名・PTA会長）
 - ・ 在校生参加なし
- 感染症対策
 - ・ マスク着用の徹底
 - ・ 入場時の検温
 - ・ 人との十分な間隔の確保
 - ・ 私語禁止
 - ・ 事前の健康管理

